



外部に現した木部の経年変化

写真を見ていただいても分かるように、建物の木部と塀の木部には、異なる色の塗料を使用しました。どちらの木部も耐久性に問題はありませんが、退色の速さに違いが出ています。場所に寄りますが、色の薄い塗料を塗った木部は、雨や紫外線の影響を強く受ける場所では灰色に変化しています。それに対し、色の濃い塗料を塗った板塀は、過酷な場所に設置されているにも関わらず、あまり色あせていません。木の色の変化だけを見れば濃い色を塗る方がいいように思いますが、色が変わっているからといって木部が傷んでいる訳ではありません。経年変化と共に木部の色の変化を楽しむ暮らし方も、ひとつの選択ではないでしょうか。



今年はずっと早い梅雨明けになり、7月上旬からジリジリと厳しい暑さを感じますね。この時期になると、今の住まいに工夫をすることで涼しく暮らせないものかと、色々と試したりしています。木の家は「冬は暖かく、夏は涼しい」とよく言われていて、私も木の家の住人として恩恵を感じている一人です。でも、だからと言って何もしなくても快適！とはいきませんね。私は、冬であれば薪ストーブを焚き、夏はスタレや緑のカーテンなどを取り入れながら過ごしていますが、皆さんはどのような工夫して暮らしていますか？

今回の特集では、完成後3年経過した藤枝市のTさんのお宅にお伺いし、木の家の経年変化をはじめ、涼しく暮らす為の工夫やお住まいの感想などをレポートしてきました。『風道のある家』と名付けられたこの家では、どんな仕組みや工夫があるのか？Tさんのお話を中心にお伝えしたいと思います。



築3年。 この家の、 住まい方。

建築例
藤枝市『風道のある家』
文／コロボ 山崎健治
撮影／コロボ 古屋絵理



1・2 /完成時の広間の様子。広間の上部には吹き抜けを設け、家全体に風が流れるように計画された。
 3 /夕方、庭に水を撒く Tさん。庭を湿らすことで、心地良い風が室内に入ってくる。
 4 /ルーバー式の雨戸。夜は雨戸を閉めながらも、涼しい風を室内に取り入れることが出来て便利。日差しの厳しい朝方も利用している。
 5 /日射を受けて蓄熱されたブロック塀に水をかけると、放射熱がおさえられる。
 6 /庭への水撒きの後、風が涼しくなったら縁側やベランダに扇風機を出して外の風を室内に取り込んでいる。この方法は、アパートでの生活時代から続けて、効果観面と Tさんから聞いた。

対談

築3年。木の家に住んだ
 実感と工夫を聞きました。

1・木の家の住み心地

ココラボ 山崎(以下山崎)
 Tさんのご自宅が完成してから、早いもので3年経ちましたね。木の家の住み心地はいかがですか？

Tさん(『風道のある家』施主)

床に使っている杉板は、夏はサラッとしていて気持ちいいし、冬は温かく感じます。軟らかい素材だから傷が付いてしまうんですが、それは仕方が無いかなあ。それから、私たちは慣れてしまつて分からないんですが、外出した時に人に会うと、服に木の香りが移っていて、イイ香りだって言われますよ。それと、家に長居する機会が増えましたよ。

山崎 軟らかいのは杉材の特徴で、広葉樹などの硬い材に比べて細胞内の空隙が多いということなんです。それだけに熱を伝えにくく、触れた時に手から失われる熱が少ないので、温かみを感じるんですね。

抜けの上部にサイクルファンも取り入れましたね。

Tさん 2階の寝室にも風を通す工夫をしました。やっぱり夏は1階に比べてすこし暑いので、1階のリビング横の和室で寝る事もあります。この場所はとっても涼しい…：昨夏の熱帯夜でも安眠出来ました。

サイクルファンは広間と階段室の上に設けて、2台で空気の循環を試みましたが、上手くいかなくて試行錯誤中です。単純に下向きに扇風機のように風を送る方が、家族は少し涼しいといえます。ルーバーの雨戸は活躍していますよ！それから、朝日の厳しい東側や外気温の高い日には雨戸や障子を閉め、日射と熱い空気が入らないようにして、出来るだけ家に熱を溜めないようにしています。

山崎 私の自宅でも雨戸を利用していただきます。朝日は結構キツイ…。ダイニングに朝日が差し込むので、その時間だけ雨戸を閉めて日射が入らないようにしています。

3・涼しさを作る

Tさん 最近はやしずをベランダの先に吊るしています。これは日射を遮るだけでなく、よしず越しに外を見

2・夏の過ごし方

山崎 そうそう、家の中ではエアコンを使わずに夏を過ごされているようですが、どんな風に暮らしているんですか？ Tさんのご自宅は、計画当初から風を家の中に取り込むことが大きなテーマでしたので、間取りや建具にもこだわりましたが…。

Tさん 家の東南に吹き抜けを設けたので、温かい空気は1階の大きな掃き出し窓から2階へと上って行って、1階のリビングはとても快適です。家の中に入ると外との温度差を感じますよ。お客さんが来ると、皆さん気持ちいいと仰るんです。

山崎 それは良かった！吹き抜けには2階部分に引き違い窓を設けたり、吹き抜けと2階寝室の間には3連の縦滑り出し窓を設けて、風を通そうと計画しましたよね。それから、雨戸は開閉式のルーバーにして、戸締りしても風を取り込むように作りましたし、吹き

ると涼しげなので、視覚的な効果もあるかなあ、と。

でもハード(建築)面以外の工夫で、一番効果的だと思ったのが、打ち水です。玄関前のアプローチや庭、お隣の境のブロック塀や道路にも夕方に水を撒くと、ヒヤッとします。特にブロック塀は素材がコンクリートなので、日射を受けて蓄熱し、いつまでも熱い放射熱を放つんです。これに打ち水をすると違いますよ！ちよつとこのことで体感温度が変化するから、工夫のしがいがあります。

こうして住宅周りの外の空気を冷やしてから、夕方に扇風機をベランダに出し、外の空気を室内に入れると心地良く眠ることが出来ますよ。

山崎 ご自分で涼しさをつくられているんですね。少しの変化を感じ取れるなんてすごいな。身体がすっかり周囲の環境に適応して、心地良さを見つけているんですね。

4・木の家のお手入れ

山崎 話は変わりますが、木の家のお手入れはどうされていますか？

Tさん いやあ…：あんまりしていないんですよ。母が毎日掃いて空拭きしてくれますが、特別な事は

コラム 知っているとお得！ 木の家のお手入れ方法

Tさんのお宅で、
染み落としを
実践しました！



山崎

こんな床の染みなら、割
と簡単に薄くなりますよ。

本当ですか？仕方が無いの
かなと諦めていたんです！

Tさん
奥様

汚れの多くはアルカリ性な
ので、酸性のもので落と
してあげると落ちますよ。ク
エン酸などを水に溶かして、
コットンに浸して染みの部
分にあててみて下さい。

あっ！本当ですね、薄くなっ
ている気がします！

うん、さっきまでは黒っほ
い染みだったけど、木の色
に馴染むくらい薄くなりま
したね。良かった！

木材には木繊維があり、木目が
あります。また適度な油分がある
ので、よい木材には艶があります。
調湿作用があるので、水分を吸収
し揮発させます。こんな生物とし
ての特性を持つ木の家を掃除する
には、強い洗剤や専用の薬品など
を使わなくても大丈夫！日常の汚
れなら家庭にあるもので簡単に落
とすことができますよ！掃除の仕
方を知れば、木の家に暮らすこと
は難しいことはありません。

木の床の基本的なお掃除は、木目に沿ってホウキ
や掃除機でゴミや埃を取ること。床板は木目の方
向に長く製材されているので、木目に沿って掃除
することで、木の繊維を傷めずに床板の継ぎ目に
溜まったゴミをとることが出来ます。

ちょっとした部分的な汚れは、固く絞った雑巾で
水拭きしましょう。木材は水分を吸収して揮発す
るので、固く絞らずに水拭きして放置すると、油
分まで抜けて表面がかさついてしまいます。雑巾
掛けの際は、早く水気を飛ばす為に、窓を開けて
風通しをよくしましょう。

キッチン下などの**油と埃が混ざった頑固な汚れ**は、
液体状の石鹼を汚れにかけて汚れを浮かせた上で、
重曹と水（2：1）を混ぜたものを布に含ませて拭
き取ってください。油汚れは酸性なので、アルカ
リ性の石鹼や重曹による掃除が効果的なのです。
汚れが取れたらクエン酸水をスプレーして中和さ
せ、さらに空拭きすることをお忘れなく！アルカ
リに傾いたままだと、木の床板は黒ずんでしま
いますよ。



2



3

1/浴室の壁と天井に使用した
サワラの板は、驚くほど綺麗だっ
た。「特に手入れは何もしていな
い」と聞いて、更にビックリ。
2/玄関建具や板戸もいい色に
変化していた。そして木の艶は、
新築当時と変わっていない。
3/キッチンはタモの無垢材で
扉などを製作した。反りや狂い
が心配だったが、特に問題無い
と聞き、安心した。



1

何もしていません。

浴室の壁板に貼ったサワラにも、何
もしていませんよ。毎日最後に壁を拭
くと良いと伺いましたが、洗い場を少
し大きくしてもらったので、体を洗っ
ても壁板に水が飛ばないんです。

むしろ、壁より床のタイルに手を掛
けていますね。タイルの目地はやはり
カビが生えやすいので、家族みんなが
入浴後に床を拭いて、なるべく乾かす
ようにしています。

そうそう、浴槽の残り湯も利用して
いますが、朝まで浴槽にお湯を残して
おくのは気がかりなので、ポンプを利
用して、残り湯を外に出したり大きな
容器に移し替えています。移し変えた
水は、翌朝の洗濯に使ったり、外の水
撒きなどに利用しています。

山崎 お風呂のサワラ板は本当に傷み
や染みがなくて綺麗ですね！私の自宅
は青森ヒバなので、サワラ板の様子も
解り安心しました。

リビングの杉の床板に少し染みが付
いていますが、それくらいなら固く
絞った雑巾で水拭きするか、クエン酸
を含ませた布で拭くと、目立たなくな
りますよ。

Tさん 木の家は思っていたよりも手
がかりませぬね。

冬に薪ストーブを焚く時には、水廻
りのアルミサッシの枠はちょっと結露

しますが、木製窓はまったく結露しな
いんです。

建具や床板は季節の変わり目で変化
し、空いたり太ったりしますが、問題
になるほどではないですね。

5・家族と共に変わる家

Tさん 我が家では、冬には薪ストー
ブさえあれば他に暖房器具はいりませ
ん。同居の母も、以前の家では湯たん
ぽが手放せなかったんですが、この家
では使ったことがありません。本当に、
木の家にして良かったと思います。

山崎 そう言っていただけで、私たち
もううれしいです。

久しぶりに何わせて頂きましたが、
柱や梁、板倉壁や床板なども落ち
着いた色合いに変化してきて、一層味
わい深くなってきましたね。そして、
Tさんご家族が、大切にこの家を使っ
てくれている事がよく解り、とつても
うれしく思いました。まだまだ変化し、
時には手を入れる事もあると思いま
すが、Tさんご家族と共に味わいを増し
た家に育っていつて欲しいと思いま
す。

本日はありがとうございました。